

2023年7月3日

保険調剤薬局様

医療法人笠寺病院

春日井貴雄

笠寺病院処方せん取り扱い規程（疑義照会簡素化）

平素よりお世話になっております。下記処方変更につきまして注意事項を守って頂ける場合は疑義照会済みの取り扱いとし事後報告で可とします。処方変更を行った場合は必ず文書（FAX、服薬状況等に係る情報提供書等）でご連絡ください。聞き間違い等防止のため電話での連絡はご遠慮ください。

なお、変更にあたり患者さんに説明や同意を行って下さい。また、下記以外の疑義照会は通常通り電話での連絡をお願いします。

記

1. 用法

対象薬剤（スボレキサント・レンボレキサント・ゾルピデム）の用法を「ねる前」から「就寝直前」に変更すること。対象薬剤以外の薬剤が同じRpで処方されている場合は除く。（詳細は2022年12月26日付 ベルソムラ・デレピゴ・マイスリー（ゾルピデム）の用法について参照）

例 Rp ベルソムラ錠 15mg	1錠	⇒ 処方通り
レンドルミンD錠 0.25mg	1錠	(変更する場合は疑義照会)
1日1回 ねる前	7日分	

2. 残薬調整

「残薬調整後に報告可」と記載のある処方せんの減数調整をすること。

- ① 各RP日数の調整をお願いします。残数での調整はご遠慮願います。
(例 1日2回朝・夕のうち夕分のみ減数不可)
- ② 削除は次回の処方間違いリスクがあるため処方最低日数1日でお願いします。
- ③ 麻薬及び覚せい剤原料は不可（疑義照会が必要）
- ④ 飲めておらず残薬が多くあり服用の必要性がなさそうな場合はご連絡下さい。

3. 一包化、粉碎

嚥下や認知機能低下などアドヒアランス又はコンプライアンス向上目的に限り薬剤師判断で一包化、粉碎（注後発品の粉薬への変更も変更調剤のルールに準じて可）すること

⇒〇〇のため一包化、粉碎しましたと当院へFAXでご連絡ください。

以上